

2026年6月8日

アンカー・シップ・パートナーズ株式会社等が運営するプロジェクト 「B.B.B. HOUSE」への参画について

株式会社山梨中央銀行(頭取 古屋 賀章)は、京都府が新たに整備したオープンイノベーション拠点「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都」において、クルーズ客船「飛鳥Ⅱ・飛鳥Ⅲ」の運営にも携わるアンカー・シップ・パートナーズ株式会社を中心とした事業者が開始したプロジェクト「B.B.B. HOUSE」に参画しました。

当行は、本取組みを通して山梨県の地域産品等の認知拡大・ブランディングを図るとともに、本プロジェクトに関与する事業者とのつながりを生かした山梨県の魅力向上に取り組んでまいります。

1. 背景

当行は、これまでアンカー・シップ・パートナーズ株式会社と連携し、地方創生に資するさまざまな取組みを実現してきました。

今般、同社を中心とした事業者が、障がい者の賃金向上等に向けた新たな実証的取組みとして、「福祉・アート・バニラ」を掛け合わせたプロジェクト「B.B.B. HOUSE」を開始しました。

当行は、多様な個性が輝く社会の実現を支援するとともに、本プロジェクトとのつながりを生かし、山梨県の地域産品等の認知拡大・ブランディングを図るため、本プロジェクトに参画しました。

2. 本プロジェクトについて

障がい者が主体となり、カフェの運営、国産バニラの生産およびバニラを活用した各種プロダクト(お菓子・飲料等)の開発を行います。また、店舗の物販エリアで、京都府内アーティストや本プロジェクトに関心のあるアーティストとのコラボ商品、連携事業者からの紹介商品等を販売します。

3. 当行の参画内容

カフェの物販エリア「B の棚」の一部スペースにおいて、当行からの紹介事業者の商品を販売します。これにより、カフェを訪れる人に、山梨県の事業者や地域産品を知っていただき、認知拡大・ブランディングに貢献します。

スタート段階では、山梨県産木材等を活用し、県内福祉施設と共にコースターやメモ帳等を制作する「やまなし森の紙推進協議会」の商品を紹介し、「B の棚」での販売を開始しました。



関連する SDGs



以上

